

私立大学情報教育協会

経済学・会計学・心理学・被服学・物理学・化学・機械工学・建築学・
経営工学・数学・電気通信工学・土木工学・生物学・美術デザイン
グループによる分野連携対話集会（2019.12.21 法政大学）

eポートフォリオなどを活用した学修成果の可視化

金沢工業大学
高野則之

学生ポータル

The screenshot shows the top navigation bar of the KIT Student Portal. It includes the KIT logo, a search bar, and several navigation tabs: '学生ポータル' (Student Portal), 'KITナビ' (KIT Nav), and '自己成長' (Self-Growth). A callout box highlights these three tabs. Below the navigation bar, there are links for '学生連絡' (Student Contact), '学部・学科・クラス連絡' (Department/Faculty/Class Contact), and '授業連絡' (Classroom Contact). A search bar for 'タイトル・発信部署検索' (Title/Issuing Department Search) is also present.

KITナビシステム画面へ遷移

自己成長シート画面へ遷移

The screenshot shows the '学部' (Faculty) page of the KIT Student Portal. It displays a grid of courses for 1st to 4th years. The courses are categorized by '科目群の学習・教育目標' (Learning/Educational Objectives of the Subject Group). The grid shows the status of each course (e.g., '必修' - Required, '選択' - Elective) and the number of units. A legend indicates the status: '修得済' (Completed), '不合格' (Failed), and '履修中' (In Progress).

The screenshot shows the '自己成長シート' (Self-Growth Sheet) page of the KIT Student Portal. It displays a table of course performance and a bar chart of unit completion. The table includes columns for '期' (Term), '年度・期' (Year/Term), '修学クラス' (Academic Class), '修学アドバイザー' (Academic Advisor), '履修科目数' (Number of Courses Taken), '出席率(%)' (Attendance Rate (%)), '修得単位数' (Number of Units Completed), and 'GPA'. The bar chart shows the '単位修得状況' (Unit Completion Status) for each year, with a legend indicating '卒業に必要な最低単位数' (Minimum Number of Units Required for Graduation) and '単位修得状況' (Unit Completion Status).

The screenshot shows the footer of the KIT Student Portal. It includes links to various support services: '授業共通' (Common to All Courses), '修学支援' (Academic Support), '施設' (Facilities), and '大学院入試情報' (Graduate School Admission Information). The footer also includes a 'マイメニュー管理' (My Menu Management) section and a 'Launchpadはありません' (No Launchpad) message.

KITナビシステム



学生ポータル

KITナビ

自己成長

学生ポータルのお知らせ

はじめに

授業科目区分	科目名	単位	科目コード	開講時期	履修方法
修字基礎教育課程 修字基礎科目 修字基礎	修字基礎B Basic Style for Study B	2	G002-01	2期 (後学期)	修字規定第4条を参照

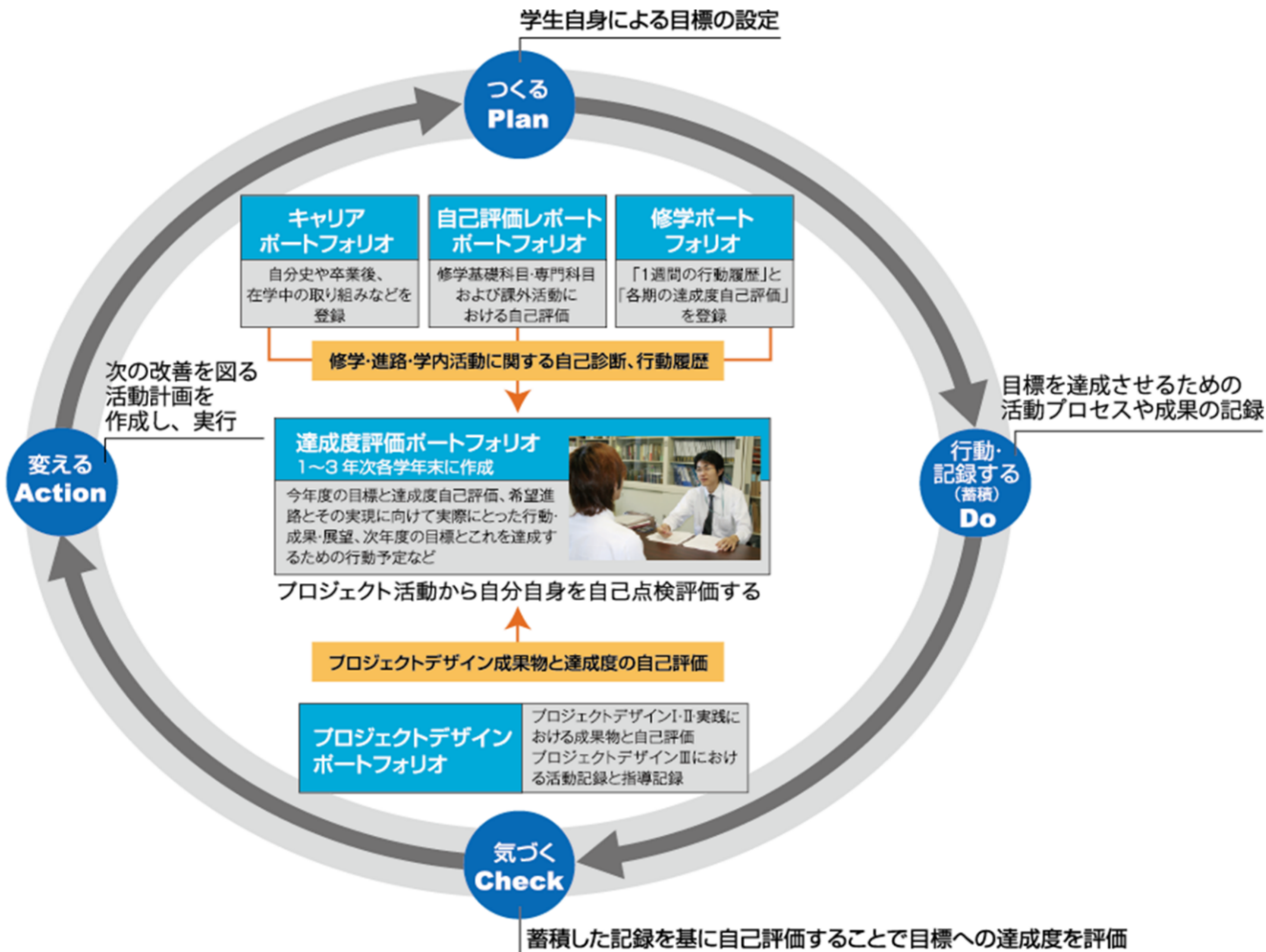
担当教員名	研究室	内線番号	電子メールID	オフィスアワー

学習教育目標・達成度評価

授業科目の学習教育目標	
キーワード	学習教育目標

回数 日付		学習内容	授業運営方法	学習課題（予習・復習）	時間 (分)
第1回 8月28日		●キャリアデザイン（第1～8回） ・本学におけるキャリアデザインのサポート体制を理解し、今後の進路選択について自ら考えるきっかけを作る。 ・特別講義「職業の広がり」と職業マップを聴講し、今後の進路、職業選択について、具体的方向性を考える（第2回）。 ・職業選択のプロセス（企業の採用活動）について、キャリアデザインの観点から具体的に理解する。 【持参物】 『修学基礎2016』、『PCAMPUS NOTE 2016』、『FOUR-ROADS GUIDE BOOK 2016』	指定教室での講義・演習 【提出物】 ・1週間の行動履歴 ・新聞ポートフォリオ 【これからの提出については、修学アドバイザーの指示に従うこと。以降、同様】 ・課題の聴講（5） 【課題内にまとめることができなかった場合は、次の授業までに修学アドバイザーの研究室に提出する】	【課題】 ・1週間の行動履歴 ・新聞ポートフォリオ ・課題の小論文コンテスト応募稿 【送付されたキャリアデザインレポート（前期聴講課題）への添削などを参考に作成する。】	30 60 60
		【1年間の自己の評価と今後の展望】を口頭で報告し、修学アドバイザーからのアドバイスをもらう。 【1月中旬から2月半ばごろに実施される個人面談の出力は、第15回の出力となる】			30 30
第15回			・新聞ポートフォリオ ・課題⑨1年間の達成度自己評価 【修学アドバイザーが指定する日時に提出する】	【予習】 【レポート課題】：1年間の反省と今後の展望について	60 30
					120
第18回		●自己点検授業 『修学基礎8』（修学基礎8）の履修を達して得られたこと、今後に向けての課題として明らかにしたことなどを確認する。 【持参物】 『修学基礎2016』、それまでに送却された課題、他	自己点検授業	【課題】 ・1週間の行動履歴 ・新聞ポートフォリオ ・修学アドバイザーからのコメントをweb入力していない場合は、次年度前期聴講オリエンテーションまでに入力を行う。	30 60 30
					【お知らせ】 「修学基礎8」受講生の方は「学習内容の達成度自己評価」提出は不要です。ファイルのダウンロードも不要です（アップロードしておりません）。もしらざりましたらご了承ください。 【レポート課題】：課題の進捗提出受付窓口

KITポートフォリオ



達成度ポートフォリオ

■ 今年度の達成度自己評価 (G002-01-2004)

①今年度の目標と達成度自己評価を入力しなさい。

1) 今年度の目標 (50文字程度)

回答:

自分が興味を持てるようなものを見つけ、それについて自分で学ぶ。1年間を通して単位を1個も落とさない。

(50文字)

2) 達成度の自己評価 (200文字程度)

回答:

前学期は自分の興味のある分野を見つけることができずに終わってしまった。しかし後学期に行ったリサーチペーパーの授業で興味のある分野を見つけることができた。はじめは少し興味があるくらいのテーマであったが、文献を読んだり調査を行う内により面白いと感じるようになった。また1年間を通して1単位も落とさないという目標はまだ達成しているかわからないが、前学期は1個も落とさず、後学期もおそらく落とさないように感じる。

(205文字)

②今年度の修学・生活状況 (出欠、成績、課題提出・各種教育センター利用、課外活動、健康、アルバイトなど) において満足すべきことや反省すべきこと、およびこれらを一層発展させる方法や改善方法を入力しなさい。

1) 修学・生活状況 (100文字程度)

回答:

今年度は1度の欠席があったがそれ以外はすべて出席することができ、来年度もこの調子で頑張りたいと感じた。学習面では課題でわからないところをすぐに人に聞いていた。これでは考える能力が向上しないので改善していきたい。

(105文字)

2) 発展・改善方法: (200文字程度)

回答:

学習面での改善点としては課題で分からないことがあれば、まずしばらく自分で考えるようにする。それで分からなかったら1日おいても一度解くことにする。これは1日おくことで頭の中が整理され、前に解けなかった問題が解けるということがよくあるからである。もしそれでも解けなかったら教育センターに行くことにする。そうすれば考える能力は向上すると考えられる。またこの学習方法をとるためには課題を早くにやり始める必要がある。

(204文字)

年度末報告書型

学年単位のPDCA

① 今年度の目標と達成度自己評価

② 今年度の修学・生活状況の反省、およびその改善方法

③ 希望進路とその実現に向けて実際にとった行動・正課・展望

④ 「KIT人間力＝社会に適合できる能力」に示された5つの能力の達成度自己評価

※5つの能力: 「自律と自立」「リーダーシップ」「コミュニケーション能力」「プレゼンテーション能力」「コラボレーション能力」

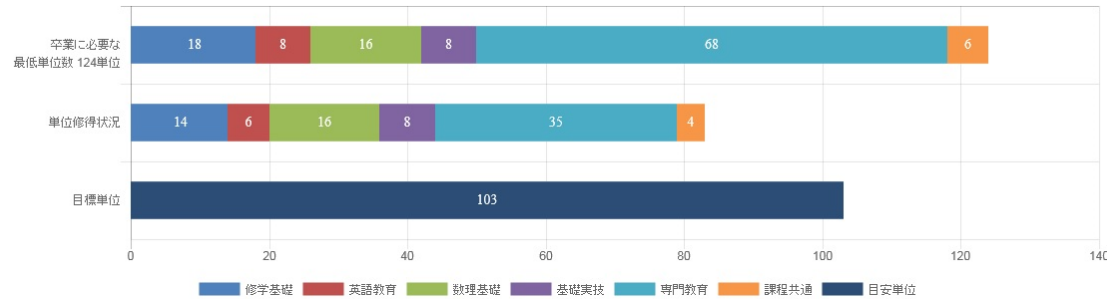
⑤ この1年間の大学生活において自分自身で最も成長したと思うことの具体的な事例とその理由

⑥ 次年度の目標とこれを達成するための行動予定

自己成長シート

【修学履歴】							
期	年度・期	修学クラス	修学アドバイザー	履修科目数	出席率(%)	修得単位数	GPA
01	16・前	1EM5	工大 太郎	11	100	21	3.28
02	16・後	1EM5	工大 太郎	11	98.0	23	2.98
03	17・前	2EM5	野々市 花子	10	92.2	21	3.17
04	17・後	2EM5	野々市 花子	12	87.9	18	2.56
05	18・前	3EM5	金沢 一郎	9	90.0	-	-
06	18・後			0	0	-	-
修得単位数						83	2.72
履修条件・卒業に含めない単位数						0	

【単位修得状況】 進級条件



課程区分	科目区分	科目群	最低単位	修得単位			課程共通対象単位
				必修	選択	合計	
修学基礎教育課程	修学基礎科目	修学基礎	6	6	—	6	—
		人文社会科学・外国語	10	2	4	6	0
	人間形成基礎科目	生涯スポーツ	2	2	—	2	—
		人間と自然	—	—	—	—	—
		生涯学習	—	—	2	2	2
英語教育課程	英語科目	英語	8	—	6	6	0
数理基礎教育課程	数理基礎科目	数理基礎	16	12	4	16	0
基礎実技教育課程	基礎実技科目	基礎実技	8	8	2	10	2
専門教育課程	専門科目	専門 (所属学科)	58	31	4	35	0
		専門 (所属学科以外)	—	—	0	0	0
	専門プロジェクト科目	専門プロジェクト	9	0	—	0	—
課程共通			6	—	—	—	4
合計			124	61	22	83	—
進級・卒業に含めない単位数				—	0	0	—

【学長褒賞取得状況】 学長褒賞推薦条件

No	期	日付	項目	コード	内容	推薦者
1	01	2016/09/21	学業	A	学期間に2科目以上履修し、GPAポイントが3.3以上の者	
2	04	2018/04/03	課外活動	H	学友会活動(個々の行事を含む)等で特に貢献のあった者	
3	04	2018/04/03	課外活動	H	学友会活動(個々の行事を含む)等で特に貢献のあった者	

【資格取得状況】 新規登録

No	資格試験・講習会名	資格取得実績	試験日	結果	点数	合格したポイント
1	品質管理検定(QC検定)(3級)	2期	2017/03/19	合格		編集

【課外活動状況】 新規登録 一週間の行動履歴

No	活動日・期間	活動内容	活動のポイント
1	2016/05/31 ~ 2017/06/29	プロジェクト 参考房・ソーラーカー	編集
2	2017/04/01 ~ 2018/03/31	学生スタッフ SA・線形代数 I	編集

【インターンシップ】 新規登録

No	参加期間	企業名	活動のポイント
1	2018/02/12 ~ 2018/02/16	野々市馬場丘工業株式会社	編集

【活動記録】

No	活動日	活動内容	活動のポイント
----	-----	------	---------

【受講講座】 新規登録

No	受講日	受講講座名	感想・考察
----	-----	-------	-------

修学履歴情報

修学アドバイザー、履修科目数、出席率、QPA など

単位修得状況

進級条件、単位修得状況
課程別修得単位数 など

学長褒賞修得状況

学長褒賞内容、推薦者
学長褒賞推薦条件 など

資格修得状況

受験した資格、合否
合格したポイント など

課外活動状況

活動期間、活動内容 など

インターンシップ

参加期間、企業名 など

活動記録、受講講座

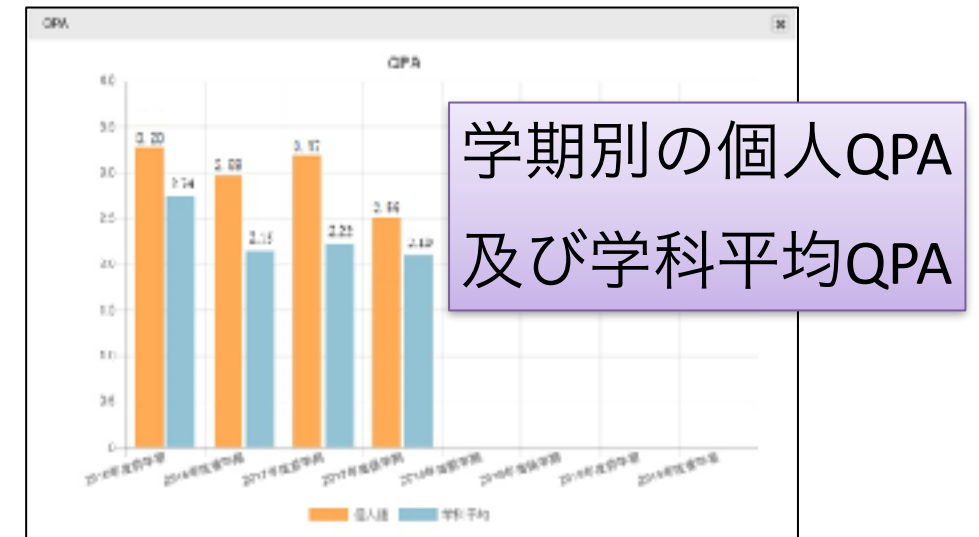
活動の内容やポイント
受講した講座名や感想 など

修学履歴情報

修学アドバイザーの情報

教員氏名	工大 太郎
メールアドレス	t.kouda@neptune.konazawa-it.ac.jp
オフィスアワー	水曜日 3,4時限目

閉じる



期	年度・期	修学クラス	担任アドバイザー	履修科目数	出席率(%)	取得単位数	GPA
01	16前期	1CME	工大 太郎	11	100	17	0.20
02	16後半	1EME	工大 太郎	11	98.0	20	0.98
03	17前期	2EME	野々市 花子	11	92.0	21	0.17
04	17後半	2CME	野々市 花子	12	07.0	18	0.01
05	18前期	3CME	吉沢 一郎	1	90	-	-
06	18後半			0			
取得単位数						00	0.72
履修条件-卒業に必要な単位数						0	

学期別の成績情報

[illegible]

学期別の出席状況

出席状況

学期別の出席状況

戻る

2017年度(18学期)4期5

出席科目	科目名	単位数	授業実施予定回数	授業実施済回数	欠席率(%)	出席回数		欠席回数	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
						出席	欠席								
●	英語総合英会話(3単位)1月期	3	31	31	16.1	26	0	5	36/35 1回 ○	36/35 2回 ○	36/35 1回 ○	36/35 2回 ○	36/35 1回 ○	36/35 2回 ○	36/35 1回 ○
●	機械工学1(6単位)	6	16	16	25.0	11	1	4	36/35 2回 ○	36/35 3回 ○	36/35 1回 ○	36/35 2回 ○	36/35 3回 ○	36/35 2回 ○	36/35 3回 ○
	機械応用プログラミング(6単位)	6	16	6	9.4	14	1	1	36/35 2回 ○	36/35 3回 ○	36/35 2回 ○	36/35 3回 ○	36/35 2回 ○	36/35 3回 ○	36/35 2回 ○
●	数学1(4単位)	4	16	16	4.4	11	1	1	36/35 2回 ○	36/35 3回 ○	36/35 2回 ○	36/35 3回 ○	36/35 2回 ○	36/35 3回 ○	36/35 2回 ○
●	数学1(6単位)	6	16	6	18.8	12	1	3	36/35 2回 ○	36/35 3回 ○	36/35 2回 ○	36/35 3回 ○	36/35 2回 ○	36/35 3回 ○	36/35 2回 ○
●	機械工学1(4単位)	4	16	16	4.4	11	2	1	36/35 1回 ○	36/35 2回 ○	36/35 1回 ○	36/35 2回 ○	36/35 1回 ○	36/35 2回 ○	36/35 1回 ○
●	英語総合英会話(3単位)	3	31	31	16.1	26	0	5	36/35 1回 ○	36/35 2回 ○	36/35 1回 ○	36/35 2回 ○	36/35 1回 ○	36/35 2回 ○	36/35 1回 ○

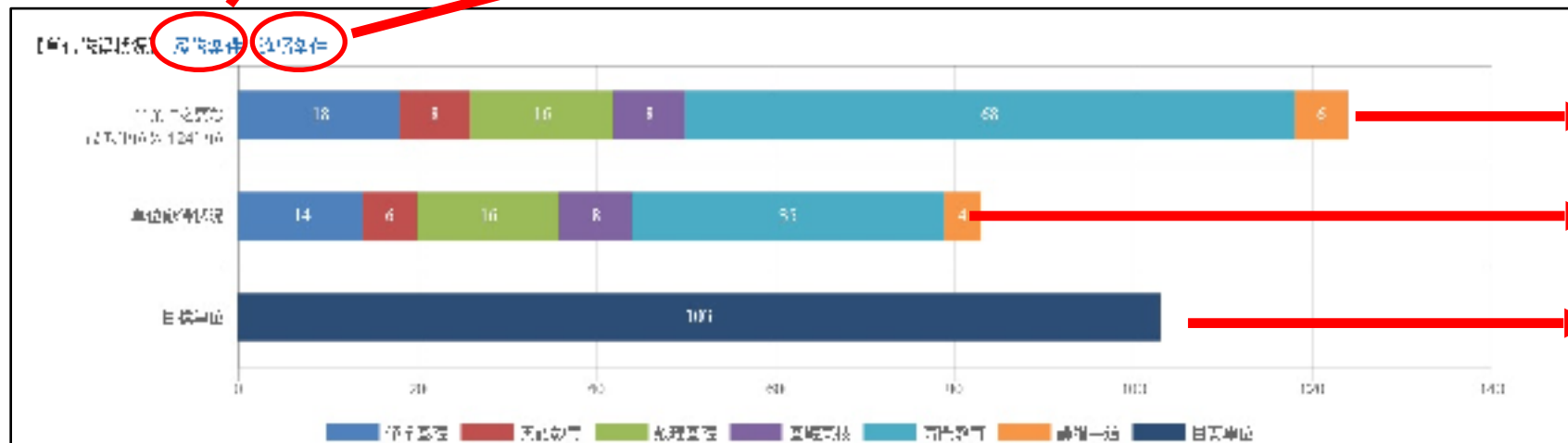
単位習得状況

履修条件を表示

履修条件を公表	
指定項目	履修条件
2年次以降に開講される科目	修得単位数30単位以上
専門実践・演習科目	修得単位数62単位以上
「専門ゼミ」	修得単位数6単位以上
「プロジェクトデザインⅡ」	1・2年次の必修科目から7から9選択必修科目の単位を修得、専門実践・演習科目A・B、「専門ゼミ」を含む修得単位数110単位以上

進級条件を表示

進級条件を表小	
年次	進級条件
1年次	学力10以上在学し、かつ、取得単位数が15単位以上であること。
2年次	2年次の1年以上である。
3年次	2年次の1年以上である。



卒業に必要な最低単位数

→ 現在自分が取得している単位数

自分の学年で取得目標とする単位数

課程区分	科目区分	科目群	履修単位の 標準単位の	履修単位			標準共通 履修単位の
				必修	選択	合計	
内定し歩みの履修	理学系科目	理学基礎	3	2	—	3	—
		— 文芸・社会科学・創価経	10	2	4	6	—
		外国語	2	2	—	2	—
		人文・自然	—	—	—	—	—
		生涯学習	—	—	—	—	—
基礎教育課程	基礎科目	3	—	0	3	—	
総合的専門課程	数理工学科目	10	12	4	16	—	
専門教育課程	理工学系科目	1	1	—	1	—	
	専門科目	—	1	4	1	—	
	専門プロジェクト	—	0	0	0	—	
履修単位の 合計			9	3	2	14	—
減額・全額に含まれない科目数			12	3	2	17	—

科目群別の成績

科目群別の成績							原簿
試験科目							
【科目群別】	科目名	必要	単位	評価	出典状況	提出・時期	提出期
試験科目①		●	2	A	16/17	全F	10期
工学の応用と環境工（環境）①②		●	4	A	20/20	月5,11	10期
試験科目②	試験科目②	●	2	B	15/19	全F	10期
工学の応用と環境工（環境）②③④⑤⑥⑦		●	4	A	20/20	月5,11	10期
環境科学			2	A	16/19	全F	10期
環境工学			2	B	14/19	全F	10期

学長褒賞・資格取得状況

学長褒賞の推薦条件を表示

学年	科目	内容
★第1年	A	★基礎科で学ぶ科目と専門科目の1科目の1つから3科目のなか
★第2年	B	1科目の2科目の1科目(2科目の1科目)から、★基礎科の1科目の1つから
★第3年	C	★基礎科の1科目の1つから★基礎科の1科目の1つから
★第4年	D	★基礎科の1科目の1つから★基礎科の1科目の1つから
★第5年	E	★基礎科の1科目の1つから★基礎科の1科目の1つから
★第6年		★基礎科の1科目の1つから★基礎科の1科目の1つから
★第7年	F	★基礎科の1科目の1つから★基礎科の1科目の1つから
★第8年	G	★基礎科の1科目の1つから★基礎科の1科目の1つから
★第9年	H	★基礎科の1科目の1つから★基礎科の1科目の1つから
★第10年	I	★基礎科の1科目の1つから★基礎科の1科目の1つから
★第11年	J	★基礎科の1科目の1つから★基礎科の1科目の1つから
★第12年	K	★基礎科の1科目の1つから★基礎科の1科目の1つから
★第13年	L	★基礎科の1科目の1つから★基礎科の1科目の1つから

学長褒賞は受賞後、自動で登録されます

【学位要求取得状况】 学位获得推荐条件

No	期	日付	項目	コード	内容	担当者
1	01	2018/09/01	学業	A	学期別 9科目以上履修人数2ポイントが1.0以上の者	
2	01	2018/04/03	課外活動	H	学友会活動(個々の行事を含む)等で巧に貢献のあった者	
3	01	2018/04/03	課外活動	H	学友会活動(個々の行事を含む)等で巧に貢献のあった者	

【资格取得状況】 新規登録

No	資格試験・講習会名	資格取得実施	試験日	結果	点数	合格したポイント	
-	品質管理検定(GO検定)(3級)	2期	2017/03/19	合格			得点

資格の情報は、資格試験・講習会申込の画面で申し込んだものは自動で登録されます。

資格試験情報登録

資格試験-講習会名

試験日

結果

点数

合格したポイント

登録 キャンセル

資格試験取得状況の登録機能

課外活動・インターンシップの活動状況

課外活動管理システム

[illegible]

【評少活動狀況】 ~~簡報登錄~~ 週研功行動履歷

No	活動日・期間	活動内容	活動のポイント
1	2017/10/01～	フロンティア 医工連携に基づいた人間工学的な医療機械の開発	編集
2	2017/04/01～2018/03/31	学三スカラ SEA-図形代数1	編集

【ジャンル: シンゴ】 新規登録

No	参加期間	企業名	活動のポイント
1	2018/06/15 ~ 2018/09/15	岡山県が丘工業株式会社	組長

『活人記』

No	活動口	活動内容	活動のポイント
----	-----	------	---------

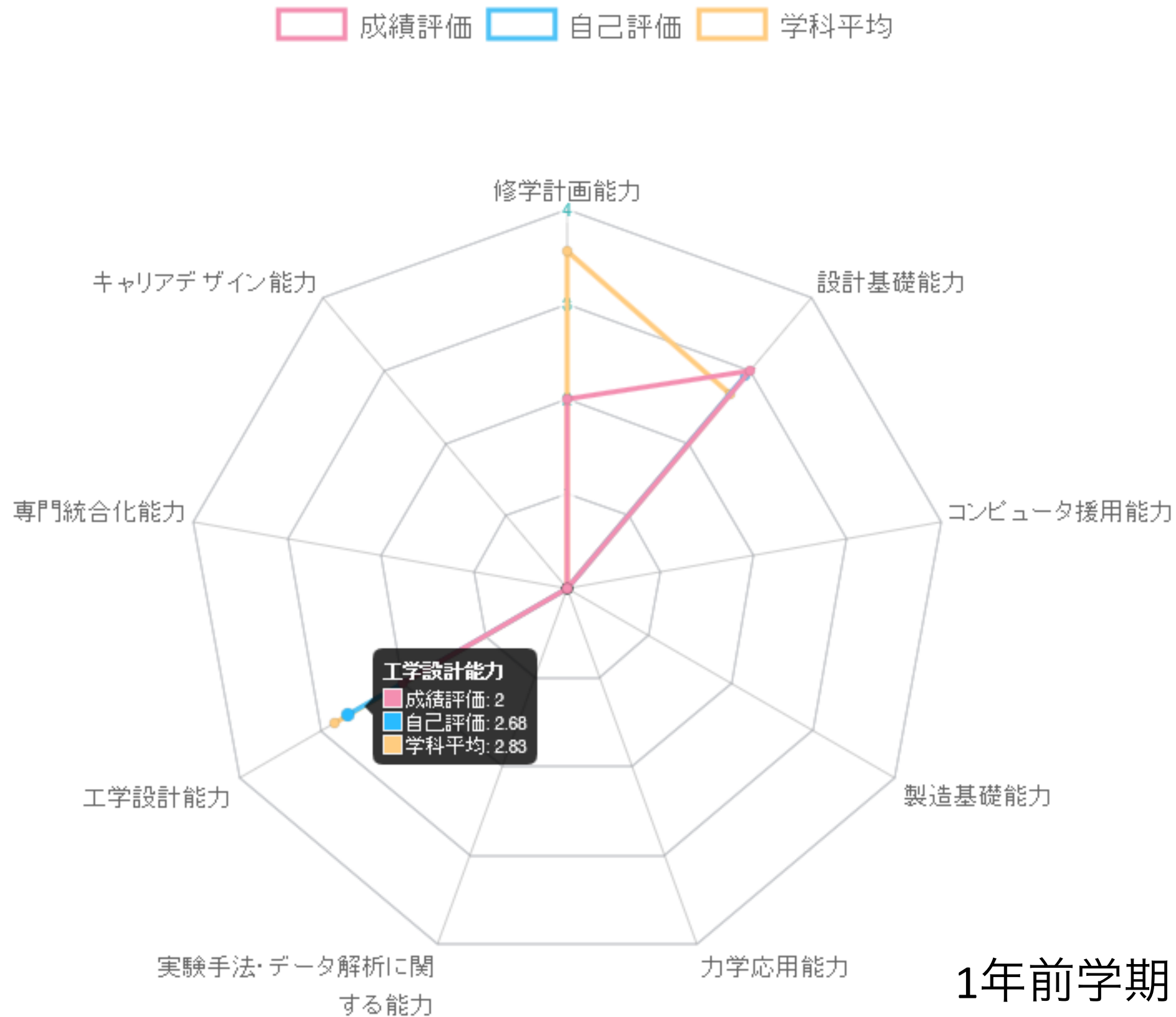
歡迎註冊 新用戶登錄

No.	姓名	所属部会	発表内容
-----	----	------	------

インターンシップは学生自身での登録が必要です。

活動記録と受講講座は次ページの特別奨学生継続ポイント機能と連動します。

専門能力の可視化



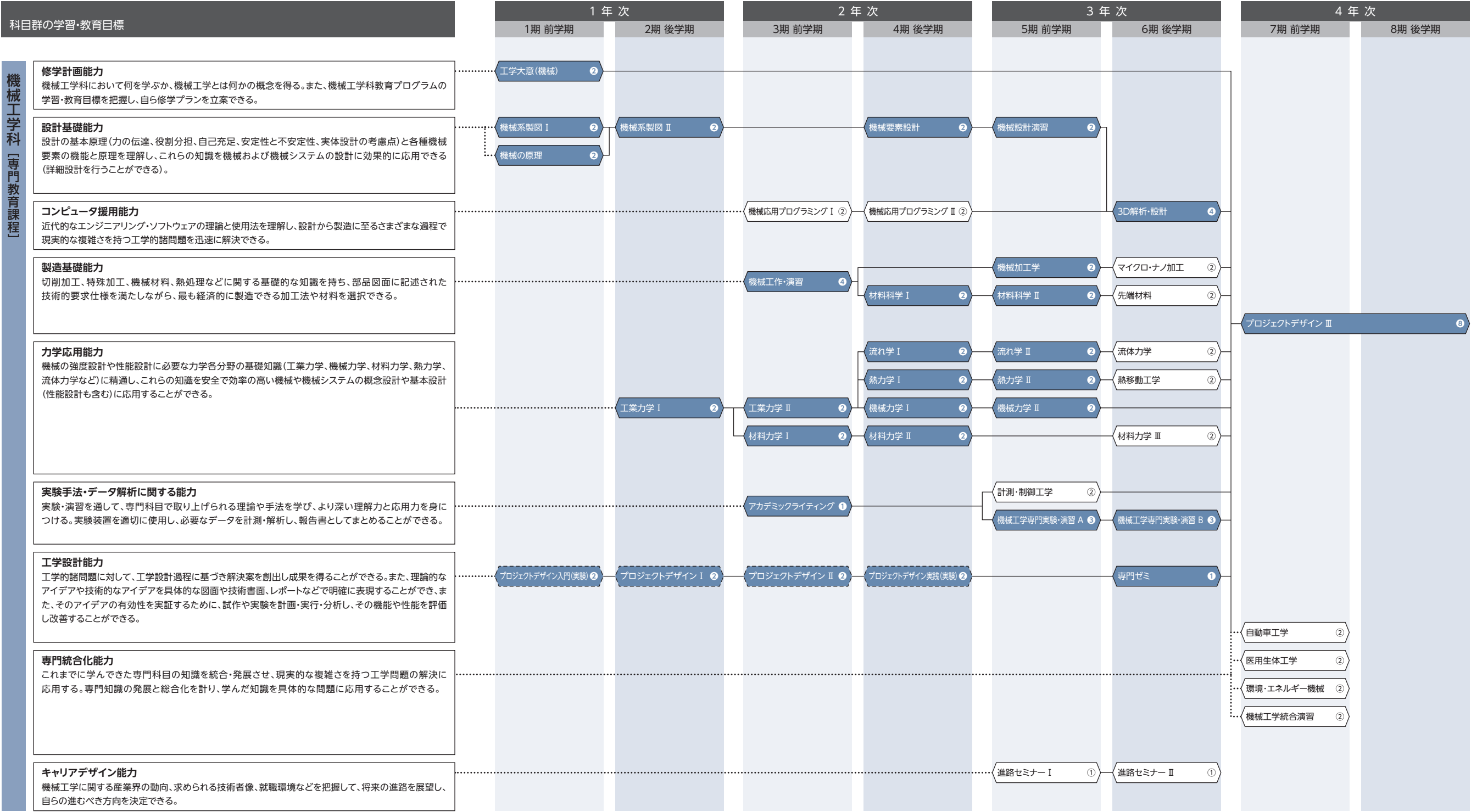
1年前学期の結果

学習・教育目標

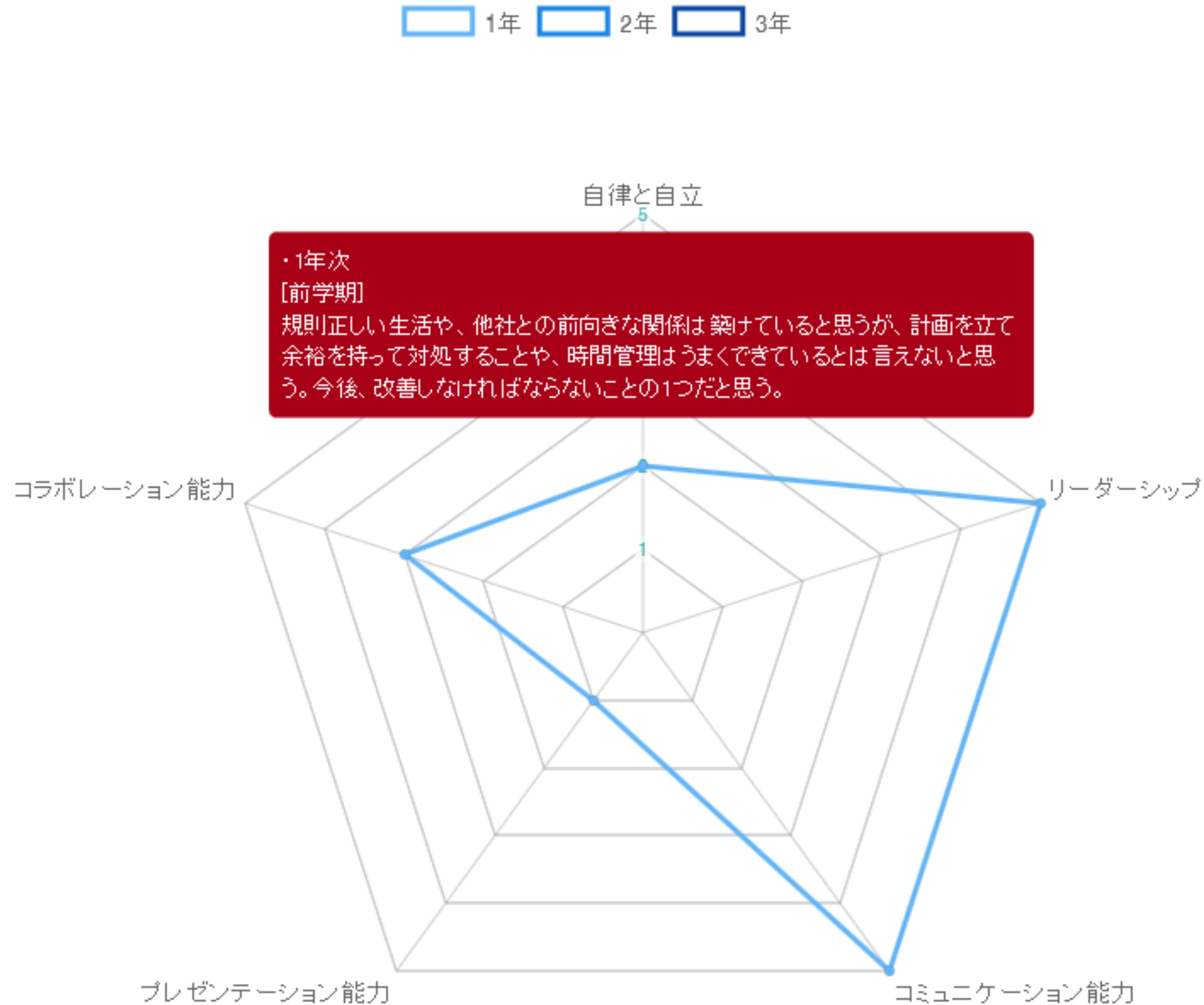
学習・教育目標

- A 自己啓発・自己管理能力**
修学スタイルを確立し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につけるとともに、自主的・継続的な自学自習能力を身につける。
- B 多様な価値観の理解と倫理的判断能力**
「知性と教養」・「感性と徳性」・「体力と健康」および技術者としての倫理観の涵養を図る。
- C 外国語コミュニケーション能力**
国際社会の一員として、日常場面、職場、研究の場において必要な、基礎的な外国語のコミュニケーション能力を身につける。
- D 現象のモデル化と分析能力、論理的思考能力**
数理の基礎を学び、論理的思考力を養うとともに、工学・技術の諸問題に応用できる能力を身につける。
- E 図形コミュニケーション能力**
図形表現の技法を理解し、図形によるコミュニケーションができる能力を身につける。
- F 基礎的な実験能力**
実験に関する基本的な知識と技量を修得し、それらを活用して実験計画の立案と実験の実施、観察、考察、報告ができる能力を身につける。
- G 問題発見・問題解決能力**
身近な問題を解決するために、現在持っている知識に加えて必要な情報を集め、グループ活動を通して問題を解決することができる能力を身につける。
- H コンピュータリテラシー**
コンピュータに関する基礎知識を修得し、それらを活用できる能力を身につける。
- I 修学計画能力**
機械工学科において何を学ぶか、機械工学とは何かの概念を得る。また、機械工学科教育プログラムの学習・教育目標を把握し、自ら修学プランを立案できる。
- J 設計基礎能力**
設計の基本原則（力の伝達、役割分担、自己充足、安定性と不安定性、実体設計の考慮点）と各種機械要素の機能と原理を理解し、これらの知識を機械および機械システムの設計に効果的に応用できる（詳細設計を行うことができる）。
- K 製造基礎能力**
切削加工、特殊加工、機械材料、熱処理などに関する基礎的な知識を持ち、部品図面に記述された技術的要求仕様を満たしながら、最も経済的に製造できる加工法や材料を選択できる。
- L コンピュータ援用能力**
近代的なエンジニアリング・ソフトウェアの理論と使用法を理解し、設計から製造に至る様々な過程で現実的な複雑さを持つ工学的諸問題を迅速に解決できる。
- M 力学応用能力**
機械の強度設計や性能設計に必要な力学各分野の基礎知識（工業力学、機械力学、材料力学、熱力学、流体力学など）に精通し、これらの知識を安全で効率の高い機械や機械システムの概念設計や基本設計（性能設計も含む）に応用することができる。
- N 専門統合化能力**
これまでに学んできた専門科目の知識を統合・発展させ、現実的な複雑さを持つ工学問題の解決に応用する。専門知識の発展と総合化を計り、学んだ知識を具体的な問題に応用することができる。
- O 工学設計能力**
工学的諸問題に対して、工学設計過程に基づき解決案を創出し成果を得ることができる。また、理論的なアイデアや技術的なアイデアを具体的な図面や技術書面、レポート等で明確に表現することができ、また、そのアイデアの有効性を実証するために、試作や実験を計画・実行・分析し、その機能や性能を評価し改善することができる。
- P 進路計画能力**
機械工学に関する産業界の動向、求められる技術者像、就職環境などを把握して、将来の進路を展望し、自らの進むべき方向を決定できる。

カリキュラムフロー（機械工学科）



人間力の可視化



1年前学期の結果

人間力のルーブリック

自律と自立

1	規則正しい生活リズムを保っている。また、自分の感情をコントロールできている。時間管理ができ、学業と他の行動（クラブ活動、アルバイト、家事や趣味）の両立ができている。
3	しなければならない事や任されたことは、他者に促されなくても、自分で計画を立て、余裕をもって対処出来ている。難しい問題でも投げ出さず、積極的に調査したり、相談したりしている。自分の感情変化に合わせて言動のコントロールができている。
5	目標や自らの役割を理解し、達成のための計画を立て、ルールの中で自由な発想で自発的に挑戦できている。自分の言動の影響を客観的に捉え、他社との前向きな関係を築けている。

リーダーシップ

1	他者から依頼されたことには、対応することが出来ている。自分と異なる意見にも耳を傾けることはできる。
3	他者に迷惑をかけないように、自分の役割は、ある程度責任をもって取り組んでいる。求められれば、意見を述べることは出来ている。出された意見や考えを整理し、目標達成のために道筋を立てて進めることができる。
5	目標達成に必要な情報や知識、ノウハウを周囲に提供するだけでなく、他者のもっている有用な情報や知識、ノウハウを引き出すことが出来ている。それらをまとめて成果を生み出す事ができる。

コミュニケーション能力

1	相手から話しかけられたら言葉を返す事ができる。しかし、自分と異なる意見や価値観の人とはできれば話したいとは思わない。
3	自分と異なる意見や価値観に対しても興味を示し、問題解決に向けて話し合う事ができる。また、その内容を分かり易くまとめて伝える事ができる。
5	自分と異なる意見や価値観に対しても、相手の立場に立って、共感しようとするだけでなく、自分の考えと合わせて、整理したり方向づけたりしながら、発展させていくことができる

プレゼンテーション能力

1	伝えたい内容をまとめ、原稿を読みながら説明することは出来る。伝えたい内容を整理・分析はするが、十分に理解されているか自信が無い。
3	聴き易さや解りやすさを意識して、図や表を適切に取り入れて簡潔に説明することができる。そのため、集めた情報を客観的に整理・分析できている。
5	聴衆の反応に合わせて、アクセントや強調点を意識し、説明することができる。情報を効率よく要点をまとめ、且つ、客観的に分かり易く、構成・分析することができる。

コラボレーション能力

1	自ら提案することは難しいが、割りあてられた事については、周りに迷惑をかけないように取り組むことができる。
3	他者と協力しながら、自らの役割を責任を持ってやり遂げるだけではなく、自ら積極的に成功のために貢献、努力することができる。
5	最良の結果を導き出すために、自らの役割に関して、知識やスキルをより高められるように努力するだけではなく、グループ内での情報交換により広い視野で遅れや不足を補うことや、軌道修正するように行動することができる。

PERMA-profiler

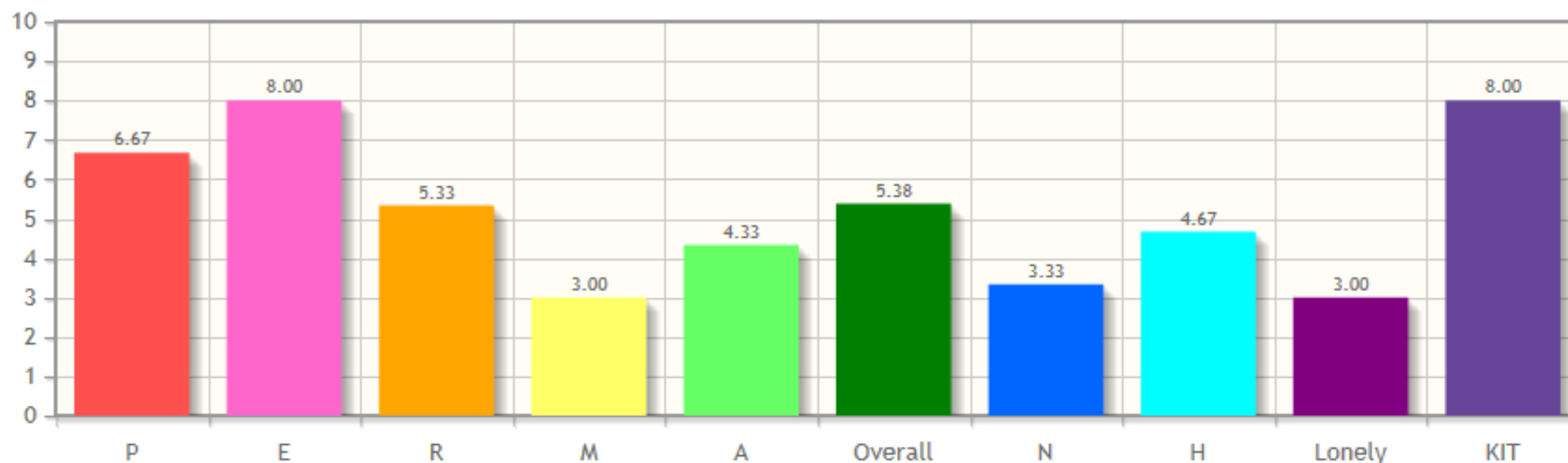
PERMA-Profiler KIT版 各項目について



■ P (Positive emotion)	全般的に、どの程度、楽しく、前向きで、満足して生活を送っているかの領域です。得点が高いほどポジティブ感情が多く生じていると考えられます。
■ E (Engagement)	生活全般で、物事にどの程度積極的に関わっているか、夢中になって取り組んでいるかの領域です。得点が高いほど主観的に幸福に向かう程度が高いと考えられます。
■ R (Relationship)	生活全般で、よい対人関係がどの程度持てているかの領域です。得点が高いほど人間関係の領域で主観的幸福感が高いと考えられます。
■ M (Meaning)	生活全般で、自分の生きている意味や意義をどの程度自覚しているかの領域です。得点が高いほど主観的幸福感も高くなると予測されます。
■ A (Accomplishment)	生活全般で、どの程度達成感を感じているかの領域です。得点が高いほど日々の生活で達成感を感じて生活しているので、主観的幸福感が高くなることが予測されます。

- Overall
- N (Negative emotion)
- H (Health)
- Lonely
- KIT

【PERMA-Profiler KIT版】 各項目について





ご清聴ありがとうございました